

2020年11月18日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

NTT-AT、デロイト トーマツとの連携により 顧客の企業戦略に基づく業務DXを支援 ～第一弾として、契約・請求関連業務の戦略的デジタライゼーションを提供～

NTT アドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村丈治)は、デロイト トーマツ グループのデロイト トーマツ リスクサービス株式会社(以下:DTRS、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木村研一)と、Withコロナ時代の企業における喫緊の課題である社内業務のデジタライゼーションについて、法令遵守やガバナンスの観点を含む業務革新のアドバイザリーサービスから具体的なソリューション提案までを戦略的に実現するための協業を開始しました。

NTT-ATとDTRSは、企業が取り組む各種業務の電子化やペーパーレス化などのDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援するため、第一弾として、社内業務の中でも重要な位置を占める契約・請求関連業務のDX推進に向け、NTT-ATが展開するAI契約審査プロセス支援システム「インテリジェント契約チェッカー®」、RPAツール「WinActor®」等のDXツール群と、DTRSによる企業の経営課題に沿ったアドバイザリーサービスとAI-OCR「DeepICR®クラウド」(以下:DeepICR®)を組み合わせ、顧客それぞれにあわせたベストプラクティスを具現化・提案していきます。

1. 協業の背景とねらい

Withコロナ時代の企業においては、激変する外部環境や経営環境に即応する新たな経営ビジョンと戦略モデルの策定・実践が求められ、現場の業務効率化等の課題においても、より高度な視点での解決が必要です。

NTT-AT と DTRS は、企業が直面しているデジタルシフトにおける課題に対し、単なる DX ツールの導入ではなく、業務・リスクコンサルティングから事業運営全体を見渡した課題解決と最適ソリューション群の提案を行い、実際の導入から組織への定着、次なる改善へとつなげる業務全体のデジタライゼーションの実現を支援するなど、より高付加価値なソリューションをお客様に提供することを目的に協業することとしました。

NTT-ATとデロイト トーマツでDXのベストプラクティスをお客様に提供

NTT-AT

インテリジェント契約チェッカー®
AIと自然言語処理技術の組み合わせにより
契約書の社内審査時間を大幅短縮

WinActor®
5500社を超える企業に導入されている
NTTの研究所で生まれた純国産RPAツール

DocuSign®
180カ国で利用されている電子署名サービス
押印処理の電子化を実現

デロイト トーマツ

DeepICR®
独自開発した企業文書解析AIモデルを
中核としたAI-OCRソリューション
ディープラーニングによるノイズ処理
及び文書全体の認識を行うAI-OCR

アドバイザリーサービス
企業と密に連携し、企業毎に
DXのあるべき姿を議論・提案する



顧客企業の喫緊の課題にアプローチ

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ● 紙による業務非効率 | ✓ ペーパーレス化の具体的な推進 |
| ● 多くのリモート業務の阻害要因 | ✓ 業務のクラウド環境へのシフト |
| ● リモートでの事故発生の未然防止 | ✓ 法令準拠とリモートの両立、セキュリティ強化 |
| ● 他 | |

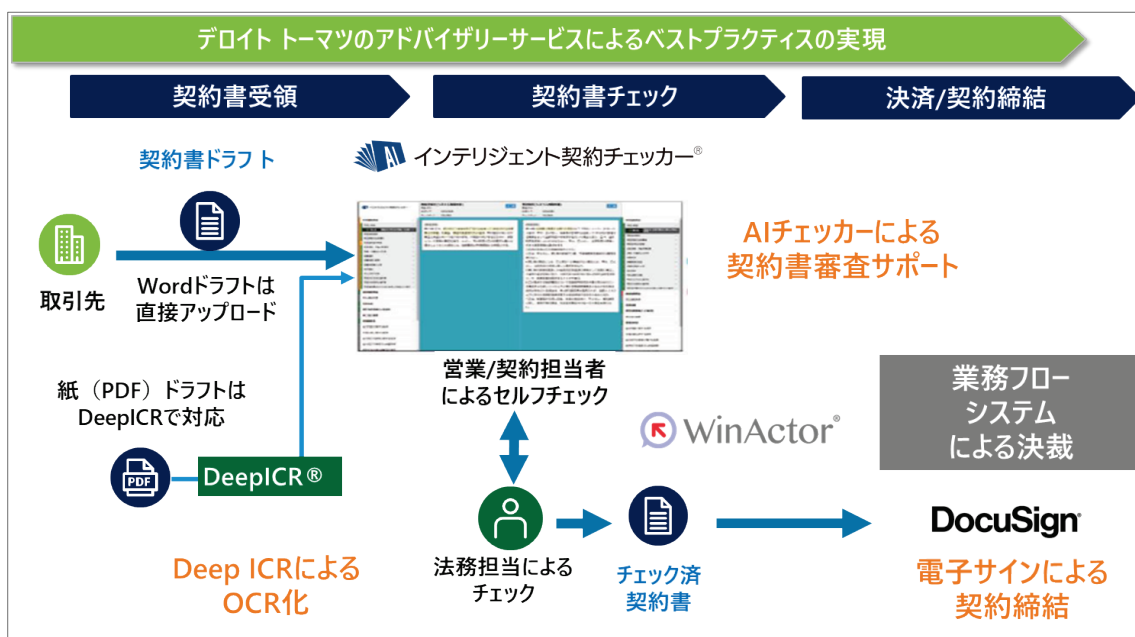
【図1 企業の業務改革にアプローチするベストプラクティスの提供】

2. 協業の内容

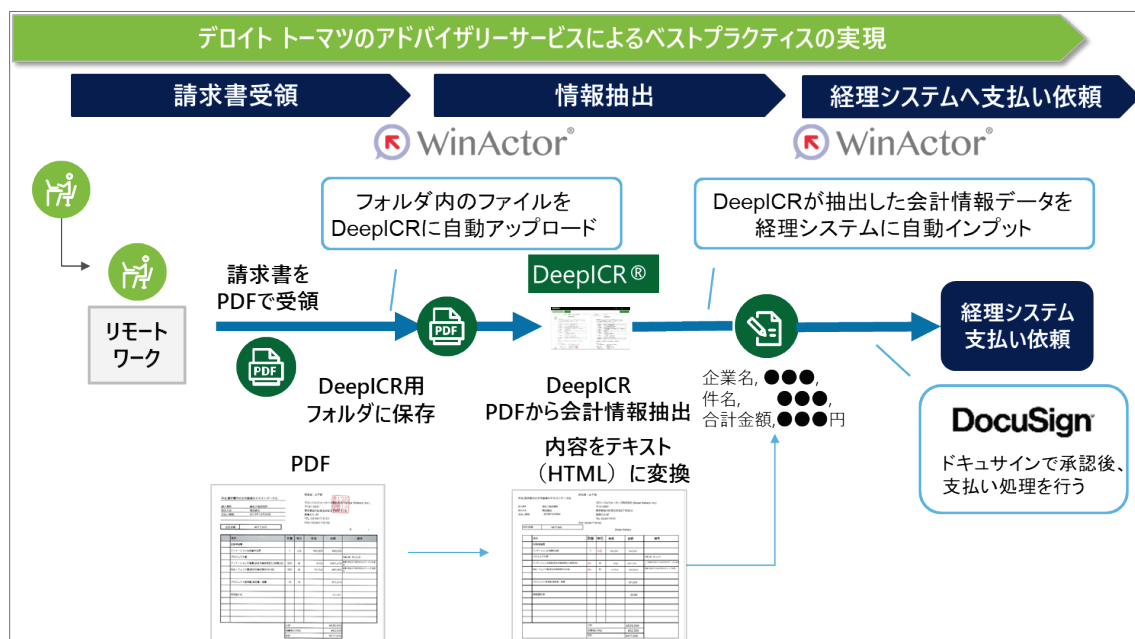
NTT-AT は、AI と自然言語処理技術の組み合わせにより契約書の社内審査を効率化する「インテリジェント契約チェッカー®」や 5,500 社を超える企業に導入されている RPA ツール「WinActor®」、世界 180 ヶ国以上で利用されている電子署名サービス「DocuSign®」等の DX ツール群を展開しています。

DTRS は、これまでスマートワークの推進を目的としたテクノロジーの導入等、企業の管理業務の効率化・高度化を支援するアドバイザリーサービスを多数手がけ、経営変革を後押ししてきました。とりわけ、経営変革の阻害要因となっていた既存の AI-OCR の課題を解決するために独自に開発した「DeepICR®」は、ディープラーニングによるノイズ処理や文書全体の認識を行う特長を持ち、特に契約書・請求書を高精度に読み取る性能を持っています。

NTT-AT と DTRS は、両社の強みを活かし、まずは企業における契約・請求関係業務の DX 化を支援することで、協業による新たな付加価値をお客様に提供します。



【図2 契約書関連業務のソリューション提案のイメージ】



【図3 請求書関連業務のソリューション提案のイメージ】

3. 今後の展開

NTT-AT と DTRS は、今回の第 1 弾に続き、さまざまな業務の効率化・高度化を希望するお客様に対し、デジタルシフト・業務最適化のアドバイザリーサービスと DX ツール群を組み合わせたベストプラクティス連携ソリューションを提供することで、お客様の DX 推進の加速を支援していきます。

【DTRS 会社概要】 <https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtrs/dtrs-company-profile.html>

DTRS は、デロイト トーマツ グループにおいて IT リスクマネジメントおよび IT ガバナンス領域を中心としたアドバイザリー業務を担い、IT の導入・運用・リスクマネジメントから、IT 活用に向けたガバナンス態勢の構築等まで、開発したアセットにより新しい価値を付加しながら支援しています。また、世界各国のデロイトメンバーファームとの連携により、グローバルで活躍する企業に海外も含む企業グループ全体の IT リスクマネジメント高度化に向け、シームレスなサービスを提供しています。

【DeepICR®の概要】 <https://deepicr.ai/>

「DeepICR®」は DTRS が独自に開発した企業文書解析 AI モデルを中核とした AI-OCR ソリューションをクラウド上で利用できるサービスです。従来はカスタマイズを前提とする企業への個別導入ソリューションでしたが、クラウド上でのサービス提供開始に伴い、ユーザーが容易に利用できるようになりました。

【インテリジェント契約チェッカー®の概要】 <https://www.ntt-at.co.jp/product/ai-document/>

「インテリジェント契約チェッカー」は、AI（機械学習技術）と高度な日本語の自然言語処理技術により、ユーザーが設定したチェック項目に基づき契約書のレビューを実施することで契約担当者の業務を支援するシステムです。本システムは、各条項にコメントを表示する機能を備えており、契約書のレビューを統一的な基準で実施することが可能です。

【WinActor®の概要】 <https://winactor.biz/>

「WinActor®」は、人が Windows PC で行っている業務の手順を「シナリオ」として記憶し、同じ操作を何回でも繰り返し実行することができます。2010 年に NTT の研究所で生まれた純国産 RPA ツールであり、NTT グループ内での社内利用と機能改善を行い、2014 年 1 月、NTT-AT が販売を開始しました。2020 年 10 月現在では、金融業から物流・小売業まで幅広い分野の 5,500 社を超える企業に導入されています。

【DocuSign®の概要】 <https://www.ntt-at.co.jp/product/docusign/>

「DocuSign®」は、業務プロセスのデジタル化によって、働き方改革・業務効率化に貢献するデジタル・トランザクション・マネジメント（DTM）と電子署名の世界標準プラットフォームです。導入、運用の容易さとビジネス加速の大きな効果が認められ、世界 180 ヶ国以上で使われています。時間や場所、デバイスに関係なく、クラウドで文書を送信、署名、追跡、保存できるので紙処理を一掃し、セキュアな環境で真のデジタル化が実現できます。

※ 本文中に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社

経営企画部コーポレート・コミュニケーション部門

加藤、増田

E-mail: inquiry@ml.ntt-at.co.jp